

文部科学省委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」

「社会人の学び直し事業」座談会 実施報告書

日時：平成21年12月5日（土）14：00～16：00

場所：大分ワシントンホテルプラザ

大分工業高等専門学校

「社会人の学び直し委員会」

目 次

1 . 事業概要.....	1
2 . 座談会開催目的.....	8
3 . 座談会実施内容.....	10
(1) 主催者挨拶.....	10
(2) 講座受講者・講座講師・カウンセラーによる発表.....	12
(3) フリートーク.....	22
4 . まとめ.....	30

1. 事業概要

大分工業高等専門学校（以下「本校」という。）は、平成19年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に「IT技術を中心とした社会人・ニート・フリーター向け再チャレンジプログラム」として申請し、採択された。

本事業は、受講対象者を特に限定しないで再就職を求める社会人に工作上必要となるIT技術の基本的技能を身に付けてもらうための講座を実施するものである。

講座は、平成20年度から平成21年度にかけて、企業に再就職するために必ずと言っていいほど求められるワープロソフトの「Microsoft Word」、表計算ソフトの「Microsoft Excel」と製造業などの企業で多く使用されている2次元CADソフトの「AutoCAD」及び3次元CADソフトの「SolidWorks」の基本的知識や操作を修得させるものである。

各講座の平成21年12月末日現在の実施状況は、以下のとおりである。

平成20年度社会人の学び直し講座実施状況一覧

講座名	応募総数	受講者数	平均出席率	修了者数	合格者数 / 受験者数	採用状況 (正社員) 延べ人数
Word	54 (辞退2含む)	14 (選考15名)	74%	10	5/8	1
Excel(学内)	33 (辞退1, FAXミス1 含む)	16	91%	16	15/16	2
AutoCAD2008	65	14	75%	10	8/8	2
Excel【学外】	18	8	90%	7	8/8	0
SolidWorks	33	11 (選考12名)	71%	7	5/6	0
平成20年度 集計	203	63	80%	50	41/46	5

平成 21 年度社会人の学び直し講座実施状況一覧

講座名	応募総数	受講者数	平均出席率	修了者数	合格者数 / 受験者数	採用状況 (正社員) 延べ人数
Word【学外】	32 (辞退 1 含む)	14 (選考 15 名)	97%	14	14 / 14	0
AutoCAD	41	14 (選考 15 名)	94%	14	6 / 13	1
Excel【学外】	28 (辞退 1 含む)	15	95%	13	12 / 12	0
SolidWorks	28	14 (選考 15 名)	79%	11	8 / 10	1
平成 21 年度 集計	129	57	91%	52	40 / 49	2
総計	332	120	85%	102	81 / 95	7

平成 20 年度の 2 回目の Microsoft Excel 講座は、受講者の受講環境や会場の利便性を考慮して、試行的に会場を「本校」ではなく町中の大分市が運営している「大分市産業活性化プラザ」を借用して実施した。講師は、開講日が本校教職員の授業等と重複するため、外部経験者に依頼した。

受講後のアンケートによると、講座を本校で実施する場合と大分市産業活性化プラザなどの町中で実施する場合との希望がほぼ同数であった。そこで、平成 21 年度においては、Microsoft Word 及び Microsoft Excel の各講座を、引き続き町中の大分市産業活性化プラザで実施することとした。

講座の特徴として、学内で実施する講師は、本校の技術職員が行うことである。さらに、講座会場を利便性の良い町中でも実施する以外に、各講座日には、キャリア・デベロップメント・アドバイザー（CDA）資格を有するキャリアカウンセラーを配置し、講座受講者への就労相談や就職活動等に対する悩みなどに対応してもらうということがあげられる。

キャリアカウンセラーは、各開講日には最初から参加してもらい、講座雰囲気や受講状況等を把握してもらうこととした。2 回目以降は、講座終了時間の 30 分ほど前に来てもらい、講座終了後に受講者との面談を実施した。

キャリアカウンセラーは、学内講座と学外講座に分けて、県内でも活躍されている 2 名の方に依頼した。



平成 20 年度 AutoCAD 講座



平成 20 年度 Microsoft Excel 講座(学外)



平成 20 年度 SolidWorks 講座



平成 21 年度 AutoCAD 講座



平成 21 年度 Microsoft Word 講座(学外)



平成 21 年度 Microsoft Excel 講座(学外)



平成 21 年度 SolidWorks 講座

本事業への評価や意見を伺うため、外部の方8名に評価委員を依頼し、これまでに既に4回の評価会議を実施している。評価会議結果を受けて、本事業への取組みをさらに充実したものとするために種々検討を加えてきた。

社会人の学び直し事業評価会議について

1. 目的

文部科学省に申請し採択された本校の社会人の学び直し対応教育推進プログラム「ITを中心とした社会人・ニート・フリーター向け再チャレンジプログラム」について、本事業実施に係る進捗状況、今後の計画等についての評価及び意見・助言等をいただくため、外部評価委員と本校実行委員による評価会議を開催し、本事業の発展を目指すことを目的とする。

2. 構成員

(1) 外部評価委員

企業，行政，学識経験者 8名

(2) 実行委員

本校社会人の学び直し委員会委員，第一実行委員会委員，第二実行委員会委員，担当教職員 18名

3. 任期

平成19年12月1日～平成22年3月31日

4. 議長（外部評価委員の互選）

ヒューマン・ネットワーク・リサーチ代表 川 邊 正 行 氏

評 価 会 議 委 員 名 簿

外部評価委員（平成 21 年 3 月現在）

敬称略，50音順

委 員 名	所 属 ・ 役 職
青木 一	大分工業高等専門学校同窓会会長 青木エンジニアリング
足立 紀男	NPO法人技術サポートネットワーク大分理事長
石坂 達也	九州東芝エンジニアリング株式会社取締役管理部長
川邊 正行	ヒューマン・ネットワーク・リサーチ代表
柴北 俊英	西日本電線株式会社 研究開発部長
下郡恵美子	おおいた地域若者サポートステーション キャリアカウンセラー
城向 文明	大分市商工部商工労政課長
田川 貞治	大分県商工労働部雇用・人材育成課人材育成推進班副主幹

本校委員（平成 21 年 12 月現在）

氏 名	所 属 ・ 役 職
大城 桂作	社会人の学び直し委員会委員長（校長）
福永 圭悟	社会人の学び直し委員会副委員長，第一実行委員会委員 （地域連携交流センター長）
工藤 康紀	社会人の学び直し委員会委員，第一実行委員会委員長 （地域連携交流センター副センター長）
藤本 高德	社会人の学び直し委員会委員，第一実行委員会委員 第二実行委員会委員長(技術部技術長)
一宮 一夫	社会人の学び直し委員会委員，第一実行委員会委員 （地域連携交流センター副センター長）
軽部 周	社会人の学び直し委員会委員，第一実行委員会委員 （機械工学科 准教授）
清武 博文	社会人の学び直し委員会委員，第一実行委員会委員 （電気電子工学科 准教授）
手島 規博	社会人の学び直し委員会委員，第一実行委員会委員 （制御情報工学科 助手）
前 稔文	社会人の学び直し委員会委員，第一実行委員会委員 （都市システム工学科 助教）
前田 正満	社会人の学び直し委員会委員（事務部長）
大西 文昭	社会人の学び直し委員会委員（総務課長）
山下 泰弘	社会人の学び直し委員会委員（学生課長）

氏 名	所 属 ・ 役 職
山崎 勝翁	社会人の学び直し委員会委員，第二実行委員会委員 (技術部設計創造室長)
吉岩 哲也	社会人の学び直し委員会委員，第二実行委員会委員 (技術部解析構造室長)
衛藤 賢一	社会人の学び直し委員会委員，第二実行委員会委員 (技術部情報基盤室長)
高石 伸一	第二実行委員会委員(技術部計測処理室長)
岩本 光弘	第二実行委員会委員(技術部設計創造室)
池田 善吾	総務課課長補佐・総務課企画室長

< 評価会議開催状況 >

第1回目 平成19年12月14日(金) 15:00～17:00

第2回目 平成20年 3月31日(金) 14:30～16:30

第3回目 平成20年11月13日(木) 15:00～17:00

第4回目 平成21年 3月24日(火) 15:00～16:30



平成20年11月13日(木)開催



平成21年3月24日(火)開催

2. 座談会開催目的

実施した本事業に対して、座談会参加者から様々な意見を伺い、この事業の当初の目的が達成され、有意義な事業となっていたかどうかを話し合っていた。

さらに、参加者のそれぞれの立場から、企業が求める人材像や講座受講者及び定職を持たない人が抱える問題点や悩み等についての意見交換を行い、本事業のまとめの一つとする。

また、講座受講者の今後の就職活動の励みとなることを期待する。

「社会人の学び直し事業」座談会参加者

講座受講者

Microsoft Word 講座受講者	2名
Microsoft Word・Microsoft Excel 講座受講者	2名
Microsoft Excel 講座受講者	2名
SolidWorks 講座受講者	5名

外部講師

Microsoft Word・Microsoft Excel 講座 東芝エンジニアリング(株)	織田 智子氏
--	--------

学内講師(本校技術職員)

Microsoft Word 講座 学内講師 技術部 計測処理室長	高石 伸一
--------------------------------------	-------

Microsoft Excel・AutoCAD 講座 学内講師 技術部 情報基盤室長	衛藤 賢一
---	-------

AutoCAD 講座 学内講師 技術部 設計創造室員	岩本 光弘
-------------------------------	-------

SolidWorks 講座 学内講師 技術部 設計創造室員	高橋 健一
----------------------------------	-------

技術部 設計創造室員	中道 つかさ
------------	--------

外部評価委員・関係企業等

九州東芝エンジニアリング(株)	石坂 達也氏
-----------------	--------

ヒューマン・ネットワーク・リサーチ	川邊 正行氏
-------------------	--------

西日本電線(株)	柴北 俊英氏
----------	--------

おおいた地域若者サポートステーション	下郡 恵美子氏
--------------------	---------

キャリアカウンセラー

Career Window 代表	小島 健一氏
------------------	--------

キャリア・デベロップメント・アドバイザー	岡野 涼子氏
----------------------	--------

本校出席者

社会人の学び直し第一実行委員会委員長

地域連携交流センター副センター長

工藤 康紀

社会人の学び直し第二実行委員会委員長

技術部技術長

藤本 高德

地域連携交流センター長

福永 圭悟

地域連携交流センター副センター長

一宮 一夫

総務課長

大西 文昭

総務課課長補佐・企画室長

池田 善吾

3. 座談会実施内容

(1) 主催者挨拶

地域連携交流センター長 福永 圭悟

本日は、年末のお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございました。私は、大分高専地域連携交流センター長の福永と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本事業の概略については、別にご説明する予定となっておりますので、私からは、この社会人の学び直し事業を文部科学省に申請するに至った経緯などを話させていただきたいと思います。

平成18年度に本校の地域連携交流センター長に就任したのを機会に、大分高専は、どういう形で地域の皆様に貢献できるかを考えてきました。ちょうどその頃企業に就職している本校卒業生に対して技術教育に関するアンケート調査を行なう機会があり、その結果、企業にとっては、CAD教育が必要であるとの回答を得ました。

早速、工業系である本校の特色を生かして、平成18年度に「基礎から学ぶ3次元CAD <SolidWorks> 初級講座を開講し、平成19年度にも同様に第2回目を実施いたしました。その結果、かなりの手応えがあり、本校が地域に貢献できる方法は、高専ならではのIT技術に関する講座の実施であることを確信しました。

平成19年度に文部科学省から、新たな事業として「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の公募がありました。3次元CAD講座の経験を生かすため、本校は、「IT技術を中心とした社会人・ニート・フリーター向け再チャレンジプログラム」として、申請を行った次第です。IT技術としては、CAD関係のみならず、企業から最低限求められるワープロソフト及び表計算ソフトの基礎的な技術と知識も身に付けてもらうこととし、プログラムの中に盛り込むこととしました。

本プログラムは、2年間の間に応募総数332名にも登り、本プログラムへの期待が伺えるものと思います。

しかし、本プログラムが本当に受講者にとって有意義であったか、再チャレンジは可能であったかなどの生の声を聞くために、本日は講座受

講者の方を始め，関係企業，関係団体，講座講師及びカウンセラーの方にお集まりいただいた次第でございます。

本日は，皆様の忌憚のないご意見やご感想などをいただければと思います。どうぞ，よろしく願いいたします。



挨拶をする大分高専地域連携交流センター長 福永 圭悟

(2) 講座受講者・講座講師・カウンセラーによる発表

司会者：社会人の学び直し第一実行委員会委員長 工藤 康紀



左から、カウンセラー 岡野 涼子氏，小島 健一氏，
大分高専地域連携交流センター副センター長 工藤 康紀，
大分高専技術部技術長 藤本 高德

司会者：講座を受けた受講者の方から，大分高専が実施した社会人の学び直し講座を受けるに至った動機や講座を受けた際の感想及び就職活動などで困ったことなどをお願いします。

【講座受講者】

Aさん：佐伯市の蒲江から講座に参加した。保育士の免許を持っている。

以前は，公立の保育園に就職していたが，市町村合併で民営化され，今年には体を壊したこともあり，採用試験を受けなかった。保育士を採用する試験には多数の若い人が応募したが，随分の方が落ちた。このままではいけない何かをしないといけないと思うが，佐伯市の蒲江は仕事がない。何もしないで待っているだけでは仕事は来ないと思い，この講座に応募した。

講座では，自分は遅れていると思ったが，講師の織田さんからすごく丁寧に教えてもらった。自分でパソコンを買い，資格取得のための試験も受けたいし，今後 Excel の勉強もしたい。

現在は，佐伯市に就職している。

Bさん：講座を受けるまでは、パソコンを触ったことがない。この講座が初めてである。現在は、仕事を行う上ではパソコンが必要だと思うが、自分自身行政書士を目指している。現在までに6回の試験を受けた。自己採点の段階で今回は合格できたのではないかと思う。今後は、仕事を探しながら行政書士事務所で働き、また、本格的にパソコンの勉強もしたい。先生方の指導を受け、挑戦する気持ちがわいた。
将来的には、社会保険労務士まで挑戦したい。

Cさん：Word と Excel の講座を受講した。初心者なのに丁寧に教えていただいた。仕事は、パソコンが必須となっている。現在は、Word と Excel を学ぶことが第一の目標である。住んでいる豊後大野市は、求人が少なく、近場の仕事を探すのが難しい状況なので、大分市内で仕事することも視野に入れたいと思う。講座を受けて、現実は厳しいが前向きに頑張る気持ちになった。

Dさん：結婚を機に仕事を辞めた。そろそろ仕事を始めようと今日お見えになっているサポステの下郡さんに21世紀職業財団で面談したら、この講座のことを紹介された。Word 及び Excel は、仕事をする上での条件と思い応募した。パソコンは家にはあるが、インターネットとメールぐらいしかできなかった。この講座は、わかりやすい授業であり、カウンセリングも自分を見つめ直すことができた。
現在、幼稚園のPTA役員になっているので、それが終わったら、就職したいと思っている。

Eさん：Excel 講座を受講した。現在は、就職活動中である。受講後に変わったと思えることが、企業の求人欄で必要な項目に Excel が扱えることと書いていても、今では、Excel に対して気負いがなくなり、気持ちが大きく変わった。
ワープロ専用機からパソコンに変わった時代に子育てを行っていたので、家事の中ではパソコンなど無理であった。4年前にパソコンを購入したが、マウスを動かしてできることしかしなかった。Word とか、パソコンを壊しそうで触るのが怖かった。
講座の募集を知り、思い切って応募した。講師の織田先生のリズミカルな口調のお陰で20年ぶりに面白く勉強ができた。カウンセラーの岡野さんのアドバイスもあり、ハローワークで聞きたいことを尋ねることができるようになり、そのため、アドバイスも沢山してもらえるようになった。自分の願う給料と職種を目指して仕事を探せるようになった。

今後は、Wordにもチャレンジしたい。

Fさん：現在は、就職活動中であり、講座が終わっても空いた時間にはパソコンの勉強をしている。有意義に時間を利用しているつもりだ。以前、印刷業界で写植のオペレータを行っていたので、その経験を活かしながら、Excelをマスターしたいと思っていた。勉強してExcelの資格試験に合格しても社会で通用するかわからないが、頑張っている。

講座は、カウンセリングとのセットが良かったと思う。カウンセリングの最中にカウンセラーの岡野さんの指示によりいろいろ書く練習をしたことが面接に役立っている。何度も書いているうちに、面接で自分の言いたいことが言えるようになった。現在もハローワークに行き仕事を探しているが、カウンセリングのお陰で、以前とは違い、本当に自分が求める就職情報を得ることができるようになった。

また、面接を受ける際は、自分の言いたいことが言えるようになった。

来週月曜日に営業の仕事で求人に応募する予定である。ネバーギブアップの精神で頑張る。

Gさん：SolidWorks講座受講中である。来週の最終試験は頑張るつもりだ。自分は、大分高専の卒業生で30年前に学んでいた。当時は、製図をドラフターで行っていたが、今ではパソコンであつという間にでき、ドラフターのように失敗したからと言って最初からやり直す必要がなく、途中から簡単に修正ができる。

講座は、大分高専のホームページを見て応募した。今年の夏まで半導体関係の企業に勤めていたが早期退職した。会社では、図面はパソコンで書いており、ソフトはAutoCADだった。

今回の講座は、3次元CADだったので受講した。SolidWorksは、昔の人間にとっては素晴らしいソフトだと感じた。実際に加工品を作らなくても図面で確認できるからすごいと思った。

今から就職活動を行うつもりだが、このソフトを使用している会社がないのではないかと懸念している。使っている会社がなくてもこの講座で勉強したということで就職活動に結び付けたいと思っている。

Hさん：今年の3月まで宮崎に住んでいた。16年半CADの仕事をしてきたが、主人の転勤で大分に来た。現在は、就職するためにポリテクセンターのテクニカルオペレーション科で訓練を受けている。夏に旋盤の実習を行った経験からCADの受講を希望した。

講座に参加させていただき、恵まれた環境で受講することができた。現在も求職活動中で今月までポリテクセンターに通う予定である。

親切に教えていただきありがたいと思っている。

Iさん：SolidWorksは、以前勉強したことがある。当時は、自分ではできると思っていたが、今考えると、ただ早くカリキュラムをこなしていただけたことであつたことに気がついた。

この講座は、物体を作り上げるプロセスを重視していたので、物体を作るということの意味を考えるようになった。また、加工までの過程が大事だと思うようになり、大変勉強になった。以前とは違い、加工の仕方などまで考えるようになり、授業で作っている物体についても頭の中にその過程を考えることができるようになった。

就職活動は、講座終了後、筆記試験2件を受けた。就職活動というものを長いスパンで見なければならぬと思っている。

以前は、履歴書による書類選考や面接などは、2～3日で結果が出ていたが、今では、1～2ヶ月ほどかかることもあり、4次面接まで受けなければならぬところもある。東京の本社まで来てほしいとかの話もある。長い気持ちで就職活動を行わなければならぬと思っている。

幸い、現在応募しているところの2次面接の連絡があつた。

カウンセラーによる就職活動のサポートがあつた。

Jさん：現在、メーカーのカメラ部門で期間社員として働いている。期間終了後に更新されるかどうかの心配がある。会社では派遣社員も厳しい状況で、正社員になるのは少ない。いずれ期間が終わり就職をしなければならぬが、何かをしたいと考えていたところ、ハローワークでこの講座を知り応募した。2次元CADはしていたが、3次元CADもしたいと思っていた。3次元CADは2次元CADよりも最初にイメージが出て面白い。

講座では、受講者同士で仲間ができたし、先生方も丁寧に教えてくれたので、あつた。この講座のことを知らずに応募しなかった人のためにもこの事業は続けてほしいと思っている。また、もっと上を目指す人のためにも延長課程の様なものがあれば良いと思う。

就職活動は、ハローワークに行っているが、CAD関係の求人は少ないようである。仕事に関する情報などがあれば教えていただきたい。今後もチャレンジしていきたいと思う。講師の先生と受講者の仲間にあつたと言いたい。

Kさん：商業系の高校を出て、経理、総務関係の事務に就職した。このような職種は得意だと思っている。結婚を機に臼杵に移つたが、仕事は、機械系の会社ばかりで、事務職の求人があつても機械関係の名称を覚

えなければならなかった。3年前に鉄工会社のパートに就職したが、鋼材の名前を覚える必要があったり、図面も見ることが必要があった。図面は手書きだったので、社内でパソコンを使って作成してはどうかとの話があり、夜間に2次元CADの勉強を始めた。これをきっかけにこの業種につきたいと思った。しかし、事務とCADの仕事の結びつきがないので、その会社を辞めた。その後、2次元CADの資格を受け、合格した。

現在は、就職のためにポリテクセンターに7月から行っており、2次元CADと機械製図や加工の勉強をしている。

この時に、この講座に応募し、同じポリテクセンターの仲間と受講することができた。現実的には3次元CADを使っている企業の求人がないことは分かっているので目標をどう決めるか迷っている。しかし、迷いながらもCADは続けたいと思っている。

来週、北九州で3次元CADの試験があるので、受験するつもりだ。2次元CADも極めたいと思っている。最終的に取れるところまで行きたい。

現在は、パート事務をしながら、最終的にはCADの仕事に就きたいと思っている。SolidWorks 講座の受講を機にいろんなことを学んだ。使うことはないかも知れないが仕事に就きたいというはっきりした夢が出てきた。ありがたい環境でとても楽しく受講する事ができた。うれしく思っている。

司会者：次に、講座の講師を務めていただいた方から、講座の感想や問題点などをお願いします。

【講座講師】

織田氏：受講者皆さんの感想を聞いて、元気があると思った。高専の講座は素晴らしいと思う。自分が他で行っている講座は、技術や知識を教えることのみであるが、今回の高専の講座は、受講者に再チャレンジのための力を与え、人生の元気、テクニックの2つを会得できるような講座であった。元気をもらえたことの一つには、スタッフの方が常に側におり、休憩時間には飲み物を出してくれたので、温かい講座となり、受講者間でコミュニケーションが養われたと思っている。

テクニックを教えることに関しては、自分自身自負しているところであるが、それに加えてカウンセラーの岡野先生による指導の結果、受講者のアピール力、人間力が向上し、大変いい講座になったと思う。



Word・Excel 講座の講師を務めた
九州東芝エンジニアリング（株）織田 智子氏

衛藤：昨年度の Excel 講座と今年度の AutoCAD 講座を担当した。受講者に楽しんで参加してほしいとの雰囲気作りに心がけた。普段、学生相手の仕事なのだが、一般の方である今回の受講者には、不快感を与えないように気を付けた。学生相手の授業では得られないものを得ることができた。いい経験ができた。



Excel・AutoCAD 講座の講師を務めた
大分高専技術部情報基盤室長 衛藤 賢一

高石：昨年度の Word 講座を担当した。普段の学生相手の授業と違い勝手が分からず、自分の緊張が受講者にも移ったような気がして、うまくできなかったのではないかと反省している。また、時間が足りなかったし、復習の時間がもてなかったことが残念である。
講座で得たものを今後活かしていきたいと思う。



Word 講座の講師を務めた
大分高専技術部計測処理室長 高石 伸一

岩本：昨年度の AutoCAD 講座を担当した。Word や Excel はパソコンがあれば復習ができるが、CAD ソフトは高額なので個人で買うことができずに復習をすることができない。それで、教材に付属の 3 ヶ月間限定の体験版を利用することとしたが、どの時点で利用すればよいかを決めるのが難しかった。復習がうまくできなかったことを反省している。



AutoCAD 講座の講師を務めた
大分高専技術部設計創造室 岩本 光弘

高橋：昨年度の SolidWorks 講座を担当した。講座の時間が 20 時間しかなかったので、SolidWorks と機械製図の基礎知識のフォローとのバランスが難しかった。そのためか試験では勘違いした回答があったので、反省している。事後アンケートでも時間が短かったという指摘があったので、今年度の講座には反省点として伝え、講座に反映することができた。最終的には、2 次元 CAD と 3 次元 CAD の違いが分かってくれたらよ

いと思った。貴重な体験をすることができた。



SolidWorks 講座の講師を務めた
大分高専技術部設計創造室 高橋 健一

中道：現在行っている SolidWorks 講座を担当している。昨年度の反省を踏まえ、講座前半の 5 回までを 2 時間、後半を 3 時間とし合計 2.5 時間の講座となっている。

講座では、フードプロセッサを書いてもらった。来週の最終日には試験を行う予定である。

昨年度、2 次元 CAD と 3 次元 CAD の補助講師をしたので、その経験を生かし、どこで受講者がつまづくのかを把握することができた点が役に立ったと思う。

今回の講座では 2 次元 CAD の経験者がいたので、2 次元 CAD と 3 次元 CAD の違いなどを教えた。

自分自身は、普段は学生と近い年齢なので、やりにくいと思ったことはないが、今回は自分より年齢の高い人が対象なので、難しいのではないかと考えていたが、心配する必要もなく和気あいあいと行っている。

来週が最後の講座なので、皆さんと別れるのが、少しさみしい様な気持ちだ。講師を務めて自分の中でもいい経験になり、勉強になったと思う。



SolidWorks 講座の講師を務めた
大分高専技術部情報基盤室 中道 つかさ

司会者：次に，カウンセラーを務めていただいた方から，就職活動に必要なことやカウンセリングにより受講者がどのように変化したかなどをお話し願います。

【カウンセラー】

小島氏：各講座とも受講者は15名位で，講座の都度，1度のカウンセリングで2～3名を対象に面談を行い，面接のことなどの話をした。面談を重ねるたびに受講者の様子が変わってきたようである。社会の役に立ちたいとの気持ちが伝わって来てうれしかった。

自分だったら，この座談会の場で出席した皆さんに名刺を配ってどん欲にPRをしようと思う。受講者の方も自ら扉を開いてどん欲になってもらいたいと思う。



Career Window 代表 キャリアカウンセラー 小島 健一氏

岡野氏: この講座の成果, 効果については, 受講者の言葉でわかると思う。
長期間にわたり自分はダメと思っていると自己肯定感が低くなると思う
が, 講座を終わった際に自分が頑張れたという自信につながると思う。
スキルと同時にやる気が湧いてくるような有意義な事業であった。今
後も継続性のある事業となることを期待している。



キャリアカウンセラー 岡野 涼子氏

(3) フリーターキング

司会者：Career Window 代表 小島 健一氏

テーマ：就職活動を行っていく中で困っていることは何か。

これから何をすればよいかなどについて，意見交換を行う。

司会者：(受講者に対して)今，悩んでいることについて，お話し願います。

Bさん：市場では，仕事を探している人が多い。求人側は若い人を優先とし，年齢の高い人は書類選考で落とされるというハンディーがある。企業が高齢者を雇えば補助金が出るというようなシステムがあれば平等になると思う。書類選考で落とされたらどうしようもない。面接まで行かない。2回応募したが，書類で落とされている。

司会者：職務経験の厚さをPRしていくため，人材紹介会社や再就職支援会社などに職務経歴書を出してオファーを待つのもひとつの手段であるが，大分県内限定では難しいかも知れない。福岡方面まで地域を広げる必要がある。

Aさん：以前は，就職活動を行わないでも，仕事に来てくださいとの声がかかっていたので，現在まで就職活動はしていない。

今は，就職活動を行うと保育士の免許を持っているのであれば，その資格を生かした仕事をしてはどうかと言われる。何かをしたいと思っても，保育士の正規職員は無いにもかかわらず保育士の免許を活かしてはどうかと言われる。非正規で週2日とか週3日とかならあるが，交通費は出ないし，収入は少ない。

ほかにできることがあるのではないかと思うし，保育士の免許に頼るだけではだめだと思うので，他の資格を取得すれば違う仕事で頑張れると思う。

司会者：(受講者に対して)他に学んでみたいことなどはありますか。

Aさん：パソコンでWordやExcel以外のことはまったく知らない。パソコンで図面が書けるとか，3次元CADとは何かなどと，他には何も知らないことばかりである。今まで保育士しかしてこなかったもので，この講座を受けて，まだ勉強をしなければならぬと感じた。

講師の織田さんが褒めてくれたので，自信になり，頑張れたと思う。

現在は、ボランティアを行っており、人とのコミュニケーションやサービスをするのが楽しかったので、仕事もそういう関係に就きたいと思っている。



司会者：(岡野氏に対して) カウンセラーの立場から何かアドバイスをお願いします。

岡野氏：仕事を選ぶ際には、スキルだけではなく、特技とかも加味されると良いと思う。今だけではなく、長いスパンでキャリアを考えるのが重要である。今までを振り返って、ボランティアとか、人に対する接し方とか、人柄とか、どの職種に対しても必要なことである。自分のキャリアが1年後、2年後にどうなっているかなどを思い描きながら就職活動を行うことが大事だと思う。

司会者：(織田氏に対して) 講師の立場から、コミュニケーション能力についてのアドバイスをお願いします。

織田氏：受講者の皆さんが、技術を習得したうえで、人に対して感謝の言葉や表情を出していただければうれしいと思う。仕事をする上で、相手に対して感謝などの言葉を表情で表わすことをさらにやっていただければ良いと思う。

司会者：マイナスに考えてしまうこともプラスに考えることが大事だと思う。

司会者：(企業の方に対して)この講座の受講者はどんな意欲はあると思うが、他に企業側から求めたい人材とかスキルとかがありましたらお話し願います。

柴北氏：現在は、正社員になれないという就職難がベースにあり、企業にとっても非常に厳しい。経済成長が期待できないというのがベースにある。企業間で縮小していくパイの奪い合いでサバイバル状態である。

企業が求める人材は、イノベーションができる人、改善ができる人、コミュニケーション能力を有する人、チャレンジをする人が必要である。資格をもっていれば就職できるとは限らない。就職を希望する人が求める能力を身に付けられるようなカリキュラムがあればよいと思う。



西日本電線(株) 柴北 俊英氏

司会者：雇用の創出ということを考えなければいけない。講座が終わった後に、合同就職説明会などがあれば面白いと思う。

石坂氏：企業の面接において、自己アピールをうまく行ってほしい。企業側もそれを求めている。イノベーションについていけるような意気込みを持っている方を求めているので、チャレンジする目を持っていることを面接に出してほしい。

今回の講座でスキル面が上昇し、就職活動への取り組み方や考え方が変わったというのが講座の良い所だと思う。これは、カウンセラーのお陰だと思う。

スキルを持って入社したとしても技術は日々革新がある。入社後も日々努力し、チャレンジする人を企業側は見ていると思う。今後とも頑張ってもらいたい。



九州東芝エンジニアリング（株） 石坂 達也氏

司会者：(受講者に対して)面接で聞かれることなどについて差し支えない範囲でお話しいます。

Iさん：直接面接はなかったが、筆記試験で任意のアンケートに答えた。個人の趣味、趣向まで問われる内容であった。アンケートに答えて分析すればその人物がわかるようなアンケートだった。自分を偽って良い人物像を書いてもそれは見破られると思ったので、嘘は書かなくてもそれを繕えるような人物像として書いた。書きたくないこともあったが、小さな質問の中でその方の人物像がわかると思う。

司会者：(受講者に対して)就職活動について、情報交換できそうなことをお話しいます。

Cさん：今、アルバイトをしながら、正社員の就職口を探している。豊後大野市の三重では、求人がないので、大分市内までを考えるが、交通費が出ないので三重から大分までは難しい。アルバイトは時間が短いので、稼げない。
現在、アルバイト先の店舗を任せるという話があるので、この話に乗ってみようかと思っている。

司会者：働きたいと真剣に思っている人がなかなか働けない。また就職しても賃金が安すぎるなどの負のスパイラルになっている。現在、困っていることや面接に応募して、情報として皆さんに言えるようなことがあれば、お願いします。

Dさん：先日、会社の合同説明会がアイネスであったので、参加した。当日は、履歴書ではなく自分をPRするような書類を渡されたので、必要事項を記入して提出した。その際に、講座のカウンセリングでこのような書類は押印欄が無くてもなるべく印鑑を押すようにとのアドバイスがあったので、印鑑を押して提出した。

会社からは、今は欠員がないので、採用はできないとのことであった。欠員が出た場合は是非ご連絡をお願いしますと言ったら、あなたのように押印欄が無いのに印鑑を押した方はいない。覚えていると言われた。カウンセラーから教わったことを忠実に守ってよかったと思っている。今は、連絡が来るのを期待して待っている。

ハローワークでは、折角求人を見つけても自分から無理と決めてしまう面がある。自信がないので、今はパートから慣らして行くべきかと思う。

司会者：サポステ等就職支援機関の相談員など、受け止めてくれる人を自分の方から求めて行くことも大事だと思う。

司会者：就職活動について、何かアドバイスをお願いします。

下郡氏：女性の再就職支援を行っている。本日出席のDさんには21世紀職業財団からこの講座を紹介した。

受講者皆さんは就職活動をしているというが、ハローワークには1週間に1回位しか行っていない。1週間に1回だと、金曜日に求人情報が出て、2日位で応募が殺到することとなり、そのチャンスを逃すこととなる。ハローワークは少なくとも2日に1回は行くようにしてほしい。そうしないと良い情報に巡り会わない。

ハローワークに行ってもまず紹介状をもらうこと。それと、企業の下見や研究を兼ねて事前に電話して履歴書を持参すること。

就職活動を真剣にするということは、そういうことである。

厳しい状況の中で選ばれるためには、人間性が良いこと。特に女性は、「この部署に入れても会社を引っ掻きまわさないかな?」とか、「おとなしくて病気のかな?」とか思われぬように、印象良く元気な方が良い。

人間力を鍛えて、愚痴らない、怒らない、そして人間性を高める人が良い。そうでないと雇ってくれない。

男性は、やはり積極的な人が良い。ダメと思ったら受からない。ここで本当に働きたいと言えること。コミュニケーション能力が必要である。



おおいた地域若者サポートステーション 下郡 恵美子氏

川邊氏：現役の頃、数々の面接を行ってきた。県の教育委員会で教員の面接も行っている。面接する側として、良い人が来てくれたのに、落としてしまったというリスクや、採用しない方が良かった人を雇ってしまったというリスクがある。面接する側は、短い時間でそれを見極める能力が必要である。

そこで、面接者は、いかに自分を分かってもらうことができるかが重要である。できるだけいいところをアピールすることである。人間力の部分で共感が必要である。面接官と面接者の中で共感が必要であり、今もこの場所に共感が満ち溢れている。これが大事である。

以前の評価会議で男性と女性の受講者の比率が気になると言ったことがあるが、今回の講座が男性と女性では感覚が違うと思った。

この講座を続けて行ってほしいと思うが、企業側も高専側もプラスになっていくようなものが確立されればよいと思う。



ヒューマン・ネットワーク・リサーチ 川邊 正行氏

司会者：高専側から，受講者へエールをお願いします。

衛藤：この事業をやって良かったと思う。継続してほしいとの声もうれしい。皆さん方のエネルギーが伝わってくる。皆さんの吉報が私たちの励みになるので，頑張してほしい。

パソコンを使う上で分からないことがあったら，何でもいいので連絡していただければお役に立ちたいと考えている。

司会者：就職活動には，「人間力」，「共感」，「人柄」がキーワードとなり，重要であるということがこの座談会で見えてきた。

就職活動は，「専門」とプラス「ヒューマンスキル」が必要である。どん欲に行ってほしいと思う。

聞きたいことがあれば，受講後であってもどんどん質問をしてほしいと思う。

工藤：講座を続けてほしいとの意見があるので，来年度以降，公開講座とかで継続できればと思うので，検討したい。

藤本：形の上では，現在の講座は，終わることとなる。来年度以降の開講は，現時点では未定である。

講座が終わっても，質問や疑問点があれば，とりあえず事務窓口の企画係に連絡すれば，担当に返答してもらいたい。

公開講座で今後もしもできるかもしれない。検討していきたい。



大分高専技術部技術長 藤本 高德



4．まとめ

今回実施した座談会において、本校が平成19年度から実施してきた「IT技術を中心とした社会人・ニート・フリーター向け再チャレンジプログラム」に対する生の声を受講者、講座講師、カウンセラー、企業及び評価会議委員などそれぞれの立場から意見を伺うことができた。

その結果、再チャレンジを可能とするのは、単に技術・知識の修得、テクニカル面の向上を教えたり、学んだりすることのみではなく、再就職を求める人たちと再就職を促す(手伝う)人たちが感じる「共感」が必要とされ、これにより再就職を求める人の人間力、とりわけコミュニケーション能力や人柄が向上するものと考えられる。

どんなに専門面を鍛えて就職活動に望んだとしても、自分のスキルや能力等を面接官にアピールできなければ、そこで終わってしまい何の進展もない。

本校が実施した事業の特徴であるカウンセラーの配置は、これらの講座で中心となってしまいがちな専門面での技術・知識の修得以外に、社会人として必要となる人間力の必要性を教え、その向上を図る手助けとなることができた。講座を受講した人たちが受講前に比べるとよりどん欲に前向きに突き進んでいるという意気込みを感じる事ができた。

このことにより、当初から計画・実施したカウンセラーの配置は、大いに成功したと言えるのではないだろうか。

講師を務めた本校教職員からは、時間が足りない、復習の時間を設定すれば良かったなどの講座の進め方の問題点や反省点が語られた。しかし、講座を実施したことにより教職員が得ることができたものはそれ以上に大きかったことがわかった。教育に携わる本校教職員が本事業に取り組んだ経験は大変有意義であり、本校学生の今後の指導にもきっと役立つと言える。

再就職へチャレンジするには、講座等により資格・知識等の取得は当然のことであり、それに向かってハローワークやポリテクセンターなどに通うことは最低限必要なことである。しかし、そこで得られないこと、「自分で一歩前が出る、自分で考えチャレンジする、自らが扉を開く」ことが重要であり、そのために就職支援機関などで相談にのってもらったり、キャリアカウンセラーに相談したりして、自分を少しずつ前進させることが必要だと思われる。

平成22年1月

独立行政法人国立高等専門学校機構 大分工業高等専門学校
社会人の学び直し委員会

〒870-0152 大分市大字牧1666番地

TEL (097) 552-6450

FAX (097) 552-6106

URL <http://www.oita-ct.ac.jp>